

# 北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 22 号 (通巻 No.211)

2005 年 10 月 13 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道東太平洋サンマ南下期調査結果

### 漁獲尾数はやや少なかった 魚体は大型魚が主体

北辰丸(釧路水産試験場試験調査船)で行ったサンマ南下期調査の結果をお知らせします。今回の調査は、道東太平洋海域へのサンマの南下状況を把握することを目的に実施しました。

調査期間 : 2005 年 10 月 4 日 ~ 10 月 12 日

調査海域と調査点 (図 1) : 道東太平洋 (40° 00'N ~ 42° 49'N, 143° 00'E ~ 146° 30'E) の 15 調査点 (漁獲調査は 8 点)

調査方法 : CTD による海洋観測及び 9 種類の目合 (22,25,29,37,48,55,63,72,82mm) の流し網を用いた漁獲試験

#### 1. 表面水温 (図 1, 表 1)

各調査点の表面水温は 12.9 ~ 21.2 の範囲でした。St.7,10~12 のように水深 100m でも 11 以上あるような水温の高い調査点も見られましたが、当水域はおおむねサンマの分布に好適な水温が広がっていました。

#### 2. 漁獲尾数と CPUE (図 1, 表 1, 表 2)

流し網調査の結果、サンマの総漁獲尾数は 1,851 尾でした。また、CPUE\* (流し網 1 反あたりの漁獲尾数) は 21.3 尾でした。これを過去の同調査と比較すると、漁獲尾数、CPUE とともに昨年より高いものの 2000 年以降では 3 番目に低い結果となりました。

サンマは全調査点で漁獲されました。時化や網成りの影響で、調査点ごとに網を流した時間が異なるので単純には比較できませんが、北側の St.1,15 で比較的多く漁獲されました。

#### 3. 体長組成 (図 2)

流し網で漁獲されたサンマの体長範囲は、17 ~ 34cm 台でした。St.1,7 など小型魚主体の組成でしたが、調査点全体の合計では特大・大型魚が全漁獲尾数の約 77% を占め、中型魚が約 11%、小型魚・ジャミが約 12% でした。

夜間に各漁獲調査点でサンマの目視を行った結果、St.5,13,15 では数十から数百尾程の群れを発見し、これらの調査点では漁獲尾数も多く、全て大型魚主体の組成でした。これらのことから、海域全体としては大型魚が主体に分布していると考えられます。

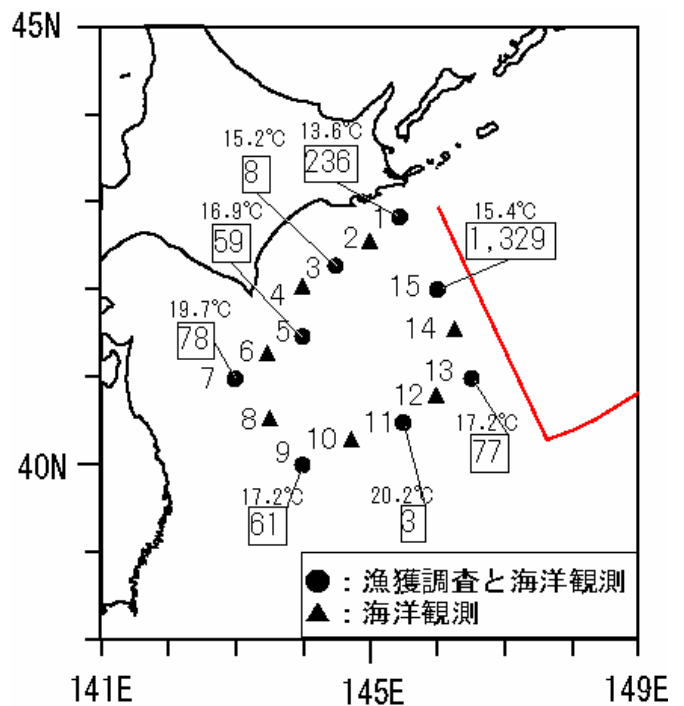


図 1 2005 年サンマ南下期調査の調査点ごとのサンマ漁獲尾数と水温

\* 目合 29,37,48mm の漁獲尾数から算出。1 反は 30 間切りで換算。

表1 2005年サンマ南下期調査結果概要

St.	調査日 (揚網日)	網浸漬時間 (時間)	水温(°C)			サンマ漁獲尾数						合計
			0m	50m	100m	目合22mm	25mm	29mm	37mm	48mm	55mm	
1	10月5日	11	13.6	8.2	3.5	1	19	150	53	12	1	236
2	10月5日	-	12.9	7.3	3.5	-	-	-	-	-	-	-
3	10月6日	9	15.2	5.8	4.9	-	-	-	7	1	-	8
4	10月6日	-	15.2	6.4	4.0	-	-	-	-	-	-	-
5	10月6日	3	16.9	3.7	2.4	-	1	-	31	27	-	59
6	10月7日	-	16.4	8.3	3.7	-	-	-	-	-	-	-
7	10月7日	5	19.7	17.6	13.2	2	9	51	16	-	-	78
8	10月8日	-	17.7	7.5	3.1	-	-	-	-	-	-	-
9	10月9日	11	17.2	7.6	4.3	-	-	1	41	19	-	61
10	10月9日	-	21.2	17.5	13.1	-	-	-	-	-	-	-
11	10月10日	11	20.2	16.6	11.7	-	-	-	2	1	-	3
12	10月10日	-	19.7	14.6	11.1	-	-	-	-	-	-	-
13	10月11日	10	17.2	5.4	1.7	-	-	-	47	29	1	77
14	10月11日	-	17.1	3.5	1.5	-	-	-	-	-	-	-
15	10月11日	5	15.4	3.7	2.3	1	25	146	930	223	4	1,329
合計						4	54	348	1,127	312	6	1,851

目合22,25mm各1反(30間切り換算)、29,37,48mm各4反(30間切り換算)、55mm2反(30間切り換算)

表2 サンマ南下期調査における漁獲尾数とC P U E の経年変化

	2000年	2001年	2002年	2003年*	2004年	2005年
漁獲尾数(尾)	608	8,124	2,168	2,425	168	1,851
CPUE(尾/反)	7.2	112.2	40.8	185.3	2.0	21.3
漁獲調査点数	7	6	4	1	7	8

\*2003年は荒天,地震等により,漁獲調査点は1点のみであったため参考値。

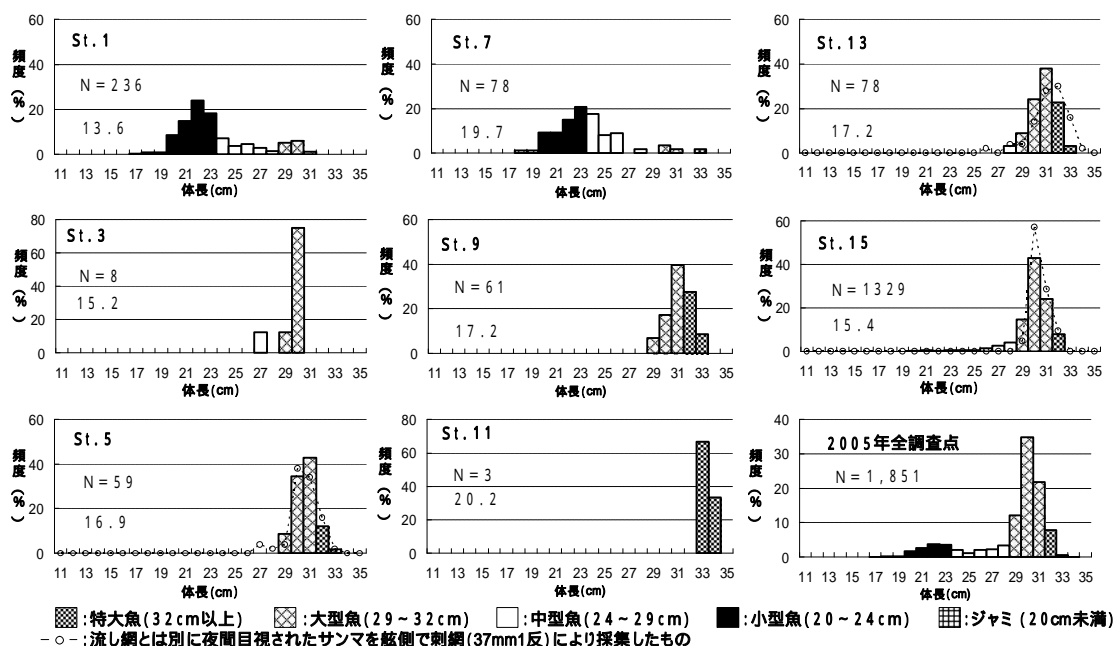


図2 2005年サンマ南下期調査におけるサンマの体長組成(Nは漁獲尾数,温度は表面水温)

#### 4.まとめ

この時期のサンマは,親潮水(冷水)の中を北方四島周辺から北海道・本州方面に向けて南下します。今回の漁獲調査点は,例年好漁場が形成される親潮水と北上暖水の潮境付近に配置されており,その表面水温はサンマの分布に好適でした。また,今年は漁期前から資源状態は良いと推定され,当業船の操業でも大型魚主体で好漁が続いていたにもかかわらず,今回の調査結果(CPUE)は2000年以降では低い値でした。これは多くの調査点で予定時間一杯網を流せなかったことが要因として考えられます。特に多くの魚群が目視され大型魚が漁獲されたSt.5,15などは予定の1/2~1/4の時間しか網を流せなかったので,かなり過小評価していると考えられます。

(文責:釧路水産試験場 資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)